

注3

大学番号：073

[平成20年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

注1

事前伺い

九州大学大学院医学系学府医学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州大学
平成23年5月1日現在

作成担当者

九州大学総務部法令審議室法規係

カリチョウ シン ムラ マサル
係長 西村大

電話番号 092 - 642 - 2108

(夜間) 092 - 642 - 2108

F A X 092 - 642 - 2113

e - mail syshoki@jimu.kyushu-u.ac.jp

医系学部等総務課

キカク コウホウ ハヤシ タ ヒデ キ
企画・広報係長 林田英樹

電話番号 092 - 642 - 6240

(夜間) 092 - 642 - 6240

F A X 092 - 642 - 6239

e - mail ijskikak@jimu.kyushu-u.ac.jp

(注)1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 大学 学部
(学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「 大学 学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	既設大学等の状況	2 3
4	教員組織の状況	2 5
5	その他全般的事項	2 6

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人九州大学

(2) 大学名

九州大学

(3) 大学の位置

〒812-8581

福岡県福岡市東区馬出3丁目1番1号

(〒812-8582

福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は，平成20年度開設の博士後期課程の場合（平成22年度までの3年間）ですが，開設年度と修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学系学府 医学専攻（博士課程） 博士（医学）	4年	107人	428人	基礎となる学部名等 医学部

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	107 (-) [-]	- (-) [-]	107 (-) [-]	- (-) [-]	107 (-) [-]	- (-) [-]	107 (-) [-]	- (-) [-]	107 (-) [-]	- (-) [-]	1.12倍	
志願者数	135 (3) [12]	- (-) [-]	135 (17) [17]	- (-) [-]	114 (17) [8]	- (-) [-]	141 (25) [8]	- (-) [-]	141 (25) [8]	- (-) [-]		
受験者数	133 (3) [12]	- (-) [-]	133 (17) [17]	- (-) [-]	112 (17) [8]	- (-) [-]	141 (25) [8]	- (-) [-]	128 (21) [8]	- (-) [-]		
合格者数	130 (3) [12]	- (-) [-]	130 (17) [16]	- (-) [-]	110 (17) [7]	- (-) [-]	128 (21) [8]	- (-) [-]	126 (21) [8]	- (-) [-]		
B 入学者数	122 (3) [12]	- (-) [-]	125 (17) [16]	- (-) [-]	108 (17) [7]	- (-) [-]	126 (21) [8]	- (-) [-]	126 (21) [8]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B / A	1.14		1.16		1.00		1.17					

- (注)・（ ）内には，社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・[]内には，留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格「留学ビザ」」により，我が国の大学（大学院を含む），短期大学，高等専門学校，専修学校（専修学校）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人を記載してください。
 ・短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けて場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位まで記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・「平成23年度」には，平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20～22年度」には，確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[12] 122	[-] -	[16] 125	[-] -	[7] 108	[-] -	[8] 126	[] -			平成20年度春入学者のうち、 8人が平成22年度早期修了
2年次	/		[12] 120	[-] -	[16] 124	[-] -	[7] 107	[-] -			
3年次	/		/		[12] 120	[-] -	[16] 123	[-] -			
4年次	/		/		/		[10] 110	[-] -			
計	[12] 122		[28] 245		[35] 352		[41] 466				

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [0] 2人	計 [12] 122人	1.6%
	うち平成20年度入学者 2人	平成20年度 122人	
	(主な退学理由) 他大学進学(1)・他大学編入(1)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [0] 1人	計 [28] 245人	0.4%
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 120人	
	うち平成21年度入学者 1人	平成21年度 125人	
(主な退学理由) 他大学進学(1)			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0] 4人	計 [35] 352人	1.1%
	うち平成20年度入学者 2人	平成20年度 120人	
	うち平成21年度入学者 1人	平成21年度 124人	
	うち平成22年度入学者 1人	平成22年度 108人	
(主な退学理由)			
・就業に専念		3人	
・研究内容の不一致(就学意欲の低下)		1人	

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、[当該対象年度における退学者数]を、[当該対象年度の入学者数+当該対象年度の前年度までの確定した入学者数]で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

< 医学系学府 医学専攻 >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通 初年 次 科目	医学史	1前	2			1						
	医学研究の倫理	1前	2			2 3						減については兼任教員が担当(21)
	医学英語	1前	2			1	4	1	1			教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
	医学教育・研究発表技法	1前	2			1						
基礎 研究者 養成 科目 (講義)	形態科学研究法(1)	1・2・3 通	2			2	4					教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
	医療情報統計科学研究法	1・2・3 通	1			4						専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
	生物化学研究法	1・2・3 通	1			1 3						教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
	実験動物学研究法	1・2・3 通	2			1		1				
	生理科学研究法	1・2・3 通	2			1 2	2					教員の退職のため減となったが、同分野の教員が担当(21)
	微生物学・免疫学研究法	1・2・3 通	2			4 5	1 2 4 2	4	1			教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
	社会医学研究法(1)	1・2・3 通	1						1 2			減については兼任教員が担当(21)
	社会医学研究法(2)	1・2・3 通	1			4						専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
	生物物理学研究法	1・2・3 通	1			2 3	1		1			教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
	移植再生医学研究法	1・2・3 通	1			3 4	1	4				専門職大学院専任教員、病院所属教員となったため、兼任へ変更(21)
	先端医療工学研究法	1・2・3 通	1			1						
	分子生物学研究法	1・2・3 通	2			1	2 3	4	1			教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)
	免疫学研究法	1・2・3 通	2			4 2	3 4		1			教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)
形態科学研究法(2)	1・2・3 通	2			4				1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
基礎 研究者 養成 科目	形態機能形成学	1・2・3 通	2			1 4	4		1			教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職のため減となったが、同分野の教員が担当(22)
	発生再生医学	1・2・3 通	2			1						
	医化学	1・2・3 通	2			1		4				教員の退職のため減となったが、同分野の教員が担当(21)

日 (実習)	基礎放射線医学	1・2・3 通	2	1	1		
	分子細胞生化学	1・2・3 通	2	1		2 4	教育内容の充実のため、教員を追加(21)
	生体情報薬理学	1・2・3 通	2	4	1	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職のため減となったが、同分野の教員が担当(21)
	臨床薬理学	1・2・3 通	2	1	1		
	分子細胞情報学	1・2・3 通	2	4	1		教員の退職のため減となったが、同分野の教員が担当(21)
	神経形態学	1・2・3 通	2	1	4	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
	統合生理学	1・2・3 通	2	4	1		教員の退職のため減となったが、同分野の教員が担当(21)
	臨床神経生理学	1・2・3 通	2	1		4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
	病理病態学	1・2・3 通	2	4		1	教員の退職のため減となったが、同分野の教員が担当(21)
	形態機能病理学	1・2・3 通	2	1 4	1	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職のため減となったが、同分野の教員が担当。また、講師が准教授へ昇任。(21)
	神経病理学	1・2・3 通	2	1	1		
	臨床検査医学	1・2・3 通	2	1	1		
	細菌学	1・2・3 通	2	1	1	4	講師が准教授へ昇任(21)
	ウイルス学	1・2・3 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
	感染免疫・熱帯医学	1・2・3 通	2	4	2		教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が兼担(22) 教員の退職のため減となったが、同分野の教員が担当(21)
	予防医学	1・2・3 通	2			1	
	環境医学	1・2・3 通	2	1		1	
	法医学	1・2・3 通	2			1	
	医療情報学	1・2・3 通	2	4			教員の退職のため減となったが、同分野の教員(専門職大学院専任教員)が兼担(21)
	医療システム学	1・2・3 通	2	4			専門職大学院専任教員となったため、兼担へ変更(21)
	老年医学	1・2・3 通	2			1	
	腫瘍制御学	1・2・3 通	2	1	1 4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
	免疫制御学	1・2・3 通	2	4	4		1 教員の退職のため減となったが、同分野の教員が担当(22) 教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が担当(21)
	分子発現制御学	1・2・3 通	2	1	1		
	免疫遺伝学	1・2・3 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
	脳機能制御学	1・2・3 通	2	1	1		

	感染制御学	1・2・3 通	2	1	1						
	増殖分化制御学分野	1・2・3 通	2	4			4			教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が兼任(22) 教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
	分子生物学研究法	1・2・3 通	2	1	2	4	1			教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)	
	免疫学研究法	1・2・3 通	2	4	3 4 2		1			教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
	形態科学研究法(2)	1・2・3 通	2	4	4		1			教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
臨床研究専門教育科目	臨床研究の現状と将来展望	1・2・3 前	1	1						専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)	
	臨床研究の倫理と規制	1・2・3 前	1	1							
	臨床研究デザイン	1・2・3 前	2	4							
	臨床研究データの解析	1・2・3 前～後	2	1							
	臨床研究のシステムとその構築	1・2・3 後	1	1							
	疫学研究	1・2・3 後	1	1		1					
	医薬品・医療機器の開発	1・2・3 後	1	1							
	ゲノム薬理学とEBM	1・2・3 後	1	4 3	2 4						教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
	がんの臨床試験とEBMの構築	1・2・3 後	1	1							教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
トランスレーショナルリサーチの歴史、倫理、現状	1・2・3 後	1	3 4						教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)		
がん専門医師養成教育科	臨床腫瘍医の基本原則とがんの心理社会的側面	1・2・3 前	2	5 4	1					教育内容の充実のため、教員を追加(21)	
	悪性疾患の管理、治療の基本原則	1・2・3 通	4	4 3 4	1 2					教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)	
	各種がんの管理、治療	1・2・3 通	5	3 4	4					教育内容の充実のため、教員を追加(21)	
	EBMに基づく放射線治療と最新の知見	1・2・3 後	2	1							
	緩和ケアの概念と各論	1・2・3 後	2	1							
臨床実習	臨床研究臨床実習	2・3・4 通	8	23 24 25 28	29 22 23 25	7 5 3	2 4			教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)	
	がん臨床実習	2・3・4 通	12	23 24 25 28	29 22 23 25	7 5 3	2 4			教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)	

専門科目	専攻コア統合科目	基礎医学研究者養成コース入門(1)	2・3・4通	1	23 24 20 28	19 22 49 41	9 40 13 41	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
		基礎医学研究者養成コース入門(2)	2・3・4通	1	23 24 20 28	19 22 49 41	9 40 13 41	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
		基礎医学研究者養成コース入門(3)	2・3・4通	1	23 24 20 28	19 22 49 41	9 40 13 41	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
		基礎医学研究者養成コース入門(4)	2・3・4通	1	23 24 20 28	19 22 49 41	9 40 13 41	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
		基礎医学研究者養成コース入門(5)	2・3・4通	1	23 24 20 28	19 22 49 41	9 40 13 41	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
		バイオメディカルリサーチコース入門(1)	2・3・4通	1	23 24 20 28	19 22 49 41	9 40 13 41	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
		バイオメディカルリサーチコース入門(2)	2・3・4通	1	23 24 20 28	19 22 49 41	9 40 13 41	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
		バイオメディカルリサーチコース入門(3)	2・3・4通	1	23 24 20 28	19 22 49 41	9 40 13 41	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
		バイオメディカルリサーチコース入門(4)	2・3・4通	1	23 24 20 28	19 22 49 41	9 40 13 41	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
		バイオメディカルリサーチコース入門(5)	2・3・4通	1	23 24 20 28	19 22 49 41	9 40 13 41	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
		臨床研究専門教育コース入門(1)	2・3・4通	1	23 24 25 28	29 22 23 25	7 5 3	2 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)

	生活習慣病研究教育コース入門(3)	2・3・4通	1		23 24 20 28	19 22 49	9 10 13 11	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
	生活習慣病研究教育コース入門(4)	2・3・4通	1		23 24 20 28	19 22 49	9 10 13 11	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
	生活習慣病研究教育コース入門(5)	2・3・4通	1		23 24 20 28	19 22 49	9 10 13 11	4 4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
専攻コア選択科目	発生生物学	2・3・4通	2	1					
	人体構造解析学	2・3・4通	2			4	4		同分野の教員が減になったが、関連分野の教員が兼任(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
	形態形成機構学	2・3・4通	2			4	4		同分野の教員が減になったが、関連分野の教員が兼任(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
	細胞構築学	2・3・4通	2			4	4		同分野の教員が減になったが、関連分野の教員が兼任(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
	神経生物学	2・3・4通	2	1		4	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
	神経解剖学	2・3・4通	2	1		4	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
	神経形態学	2・3・4通	2	1		4	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
	分子放射線生物学	2・3・4通	2	1	1				
	放射線細胞生物学	2・3・4通	2	1	1				
	分子細胞生物学	2・3・4通	2	1	1				
	放射線治療学	2・3・4通	2	1		1 4	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
	生体機能情報処理学	2・3・4通	2	1		1 4	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)

生体内原子情報解析学	2・3・4 通	2	1	1 4	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
非侵襲的腫瘍治療学	2・3・4 通	2	1	1 4	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
生物・物理学的細胞活性制御学	2・3・4 通	2	1	1 4	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
遠隔画像診断治療学	2・3・4 通	2	1	1 4	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
生体材料応用学	2・3・4 通	2	1	1 4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
骨代謝学	2・3・4 通	2	1	1 4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
軟骨代謝学	2・3・4 通	2	1	1 4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
骨軟部腫瘍学	2・3・4 通	2	1	1 4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
脊椎疾患学	2・3・4 通	2	1	1 4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
基礎眼科学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
眼病理学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
視覚生理学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
眼手術学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
急性期侵襲医学	2・3・4 通	2	1	1		
麻酔学	2・3・4 通	2	1	1		
蘇生学	2・3・4 通	2	1	1		
集中治療医学	2・3・4 通	2	1	1		
救急医学	2・3・4 通	2	1	1		
人工臓器	2・3・4 通	2	1			

医用生体材料	2・3・4 通	2	1			
組織工学	2・3・4 通	2	1			
災害医学	2・3・4 通	2	1	1		
救急医学	2・3・4 通	2	1	1		
ロボット医工学	2・3・4 通	2	1	1		
遠隔診療学	2・3・4 通	2	1	1		
低侵襲治療学	2・3・4 通	2	1	1		
脳神経生理学	2・3・4 通	2	1	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
臨床神経生理学	2・3・4 通	2	1	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
非侵襲脳機能検査学	2・3・4 通	2	1	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
人体神経病理学	2・3・4 通	2	1	1		
分子神経病理学	2・3・4 通	2	1	1		
実験神経生物学	2・3・4 通	2	1	1		
臨床神経学	2・3・4 通	2	1	1		
神経生化学	2・3・4 通	2	1	1		
神経免疫学	2・3・4 通	2	1	1		
神経遺伝学	2・3・4 通	2	1	1		
脳腫瘍分子生物学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
脳血管障害外科学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
脳機能制御外科学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
免疫遺伝学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
分子免疫学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
細胞生物学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
免疫工学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
発生工学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
分子小児科学	2・3・4 通	2	1	1	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)

機能小児科学	2・3・4 通	2	1	1 4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
形態小児科学	2・3・4 通	2	1	1 4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
発達小児科学	2・3・4 通	2	1	1 4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
小児外科学	2・3・4 通	2	1	1		
小児栄養学	2・3・4 通	2	1	1		
小児外科代謝学	2・3・4 通	2	1	1		
小児腫瘍学	2・3・4 通	2	1	1		
小児移植学	2・3・4 通	2	1	1		
胎児外科学	2・3・4 通	2	1	1		
小児泌尿器科学	2・3・4 通	2	1	1		
女性生殖器腫瘍学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
生殖生理内分泌学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
加齢婦人科学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
周産期医学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
発生細胞生物学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
電子顕微鏡学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
微細構造解析学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
発達病理病態学	2・3・4 通	2	1			
分子腫瘍学	2・3・4 通	2	1 4	1	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
生殖遺伝医学	2・3・4 通	2	1 4	1	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
分子腫瘍制御学	2・3・4 通	2	1 4	1	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
初期発生遺伝学	2・3・4 通	2	1 4	1	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
一般病理学	2・3・4 通	2	1 3	2	1 2	教員の退職、昇任により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
臨床病理学	2・3・4 通	2	4		1	教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)

実験細胞病理学	2・3・4 通	2	4	1		教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)	
腫瘍病理学	2・3・4 通	2	1 4	1	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職、昇任により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
外科病理学	2・3・4 通	2	1 4	1	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職、昇任により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
分子病理診断学	2・3・4 通	2	1 4	1	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職、昇任により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
神経精神医学	2・3・4 通	2	1	1			
病態行動科学	2・3・4 通	2	1	1			
分子病理学	2・3・4 通	2	1				
細菌細胞学	2・3・4 通	2	1	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 講師から准教授へ昇任(21)
感染免疫学	2・3・4 通	2	1	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 講師から准教授へ昇任(21)
感染と病原因子	2・3・4 通	2	1	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 講師から准教授へ昇任(21)
化学療法と感染予防	2・3・4 通	2	1	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 講師から准教授へ昇任(21)
医真菌学	2・3・4 通	2	1	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 講師から准教授へ昇任(21)
細菌基礎実習	2・3・4 通	2	1	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 講師から准教授へ昇任(21)
病原細菌実習	2・3・4 通	2	1	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 講師から准教授へ昇任(21)
細菌遺伝学実習	2・3・4 通	2	1	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 講師から准教授へ昇任(21)
感染免疫実習	2・3・4 通	2	1	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 講師から准教授へ昇任(21)
真菌学実習	2・3・4 通	2	1	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 講師から准教授へ昇任(21)
分子ウイルス学	2・3・4 通	2	1	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
ウイルス感染学	2・3・4 通	2	1	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
病態ウイルス学	2・3・4 通	2	1	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
衛生動物学	2・3・4 通	2	4	2			教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が兼任(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
国際保健学	2・3・4 通	2	4	2			教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が兼任(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)

寄生虫学特論・演習	2・3・4 通	2	4	2		教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が兼任(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
衛生動物学特論	2・3・4 通	2	4	2		教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が兼任(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
感染防御学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
アレルギー学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
粘膜免疫学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
腫瘍免疫学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
自然免疫学	2・3・4 通	2	4		1	教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)
細胞内シグナル伝達特論	2・3・4 通	2	4		1	教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)
細胞分化特論	2・3・4 通	2	4		1	教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)
分子免疫学	2・3・4 通	2	1	4		教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が担当(21)
移植免疫学	2・3・4 通	2	1	4		教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が担当(21)
サイトカインネットワーク	2・3・4 通	2	1	4		教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が担当(21)
免疫病態学	2・3・4 通	2	1	4		教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が担当(21)
一般内科学	2・3・4 通	2	2 3 4	3	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
血液学	2・3・4 通	2	1 2	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
移植免疫学	2・3・4 通	2	4	1		専門職大学院専任教員となったことによる兼任への変更及び教員の追加により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
代謝脈管学	2・3・4 通	2	4	1		専門職大学院専任教員となったことによる兼任への変更及び教員の追加により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
感染症学	2・3・4 通	2	4	1		専門職大学院専任教員となったことによる兼任への変更及び教員の追加により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
臨床免疫学	2・3・4 通	2	4	1		専門職大学院専任教員となったことによる兼任への変更及び教員の追加により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
臨床遺伝学	2・3・4 通	2	4	1		専門職大学院専任教員となったことによる兼任への変更及び教員の追加により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
一般内科学	2・3・4 通	2	4	1		専門職大学院専任教員となったことによる兼任への変更及び教員の追加により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
動脈硬化学	2・3・4 通	2	1	1		

高血圧学	2・3・4 通	2	1	1		
脳循環代謝学	2・3・4 通	2	1	1		
糖尿病学	2・3・4 通	2	1	1		
腎臓・透析医学	2・3・4 通	2	1	1		
臨床疫学	2・3・4 通	2	1	1		
消化器病学	2・3・4 通	2	1	1		
内分泌代謝学	2・3・4 通	2	4	1 4	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
糖尿病学	2・3・4 通	2	4	1 4	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
肝臓病学	2・3・4 通	2	4	1 4	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
膵臓病学	2・3・4 通	2	4	1 4	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
消化器病学	2・3・4 通	2	4	1 4	4	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
臨床感染症学	2・3・4 通	2	1	1		
プライマリケア医学	2・3・4 通	2	1	1		
プライマリケア医学	2・3・4 通	2	1	1		
心身医学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
臨床心理学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
ストレス科学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
行動医学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
老年病学	2・3・4 通	2			1	

加齢病態学	2・3・4 通	2			1	
ゲノム統計解析学	2・3・4 通	2			1	
幹細胞学	2・3・4 通	2	4			専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
分子免疫学	2・3・4 通	2	4			専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
分子腫瘍学	2・3・4 通	2	4			専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
一般外科学	2・3・4 通	2	5	4 5		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
呼吸器外科学	2・3・4 通	2	1	1		
消化器外科学	2・3・4 通	2	1	1		
内分泌外科学	2・3・4 通	2	1	1		
免疫治療外科学	2・3・4 通	2	1	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22)
内視鏡外科学	2・3・4 通	2	1	1		
移植治療学	2・3・4 通	2	1	1		
総合外科学	2・3・4 通	2		2		
消化器診断学	2・3・4 通	2		2		
消化器外科治療学	2・3・4 通	2		2		
肝臓外科学	2・3・4 通	2		2		
胸部・呼吸器外科学血管 外科学	2・3・4 通	2		2		
癌治療学	2・3・4 通	2		2		
コンピューター・内視鏡 外科学	2・3・4 通	2		2		
移植・再生外科学	2・3・4 通	2		2		
尿路疾患学	2・3・4 通	2	1	1		
生殖器疾患学	2・3・4 通	2	1	1		
腎副腎疾患学	2・3・4 通	2	1	1		
尿路内視鏡学	2・3・4 通	2	1	1		
口腔・咽頭・喉頭疾患学	2・3・4 通	2	1	1		
聴覚・平衡疾患学	2・3・4 通	2	1	1		
頭頸部外科学	2・3・4 通	2	1	1		
鼻疾患学	2・3・4 通	2	1	1		
気管食道科学	2・3・4 通	2	1	1		
皮膚生物学	2・3・4 通	2	1	1		
皮膚機能学	2・3・4 通	2	1	1		
皮膚感染免疫学	2・3・4 通	2	1	1		
皮膚腫瘍病態学	2・3・4 通	2	1	1		
皮膚移植免疫学	2・3・4 通	2	1	1		

皮膚再建形成外科学	2・3・4 通	2	1	1			
発達皮膚科学	2・3・4 通	2	1	1			
腫瘍病態学	2・3・4 通	2	1	1			
腫瘍治療学	2・3・4 通	2	1	1			
免疫治療学	2・3・4 通	2	1	1			
緩和外科学	2・3・4 通	2	1	1			
心血管病学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)	
心血管病学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)	
心血管生物学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)	
心血管生理機能制御学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)	
心血管治療学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)	
心臓外科学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)	
代用臓器移植外科学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)	
人口循環制御学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)	
心筋代謝応用外科学	2・3・4 通	2	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)	
細胞情報伝達学	2・3・4 通	2	4	1		教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
細胞分子生物学	2・3・4 通	2	4	1		教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
細胞増殖学	2・3・4 通	2	4	1		教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
心血管病学	2・3・4 通	2	4	1		教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)	
呼吸器病学	2・3・4 通	2	1	1			
呼吸器生理学	2・3・4 通	2	1	1			
呼吸器腫瘍学	2・3・4 通	2	1	1			
呼吸器感染学	2・3・4 通	2	1	1			
呼吸器分子免疫学	2・3・4 通	2	1	1			
臨床腫瘍学	2・3・4 通	2	4	1	4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)

分子病態外科学	2・3・4 通	2	4	1 4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)
臓器再生外科学	2・3・4 通	2	4	1 4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)
分子病態麻酔学	2・3・4 通	2	4	1 4	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職及び追加により増減となったが、減については同分野の教員が担当(21)
遺伝子治療学	2・3・4 通	2	1		1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
血液腫瘍学	2・3・4 通	2	1		1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
免疫細胞治療学	2・3・4 通	2	1		1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
臨床遺伝学	2・3・4 通	2	1		1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
消化器・血液腫瘍免疫学	2・3・4 通	2	1		1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
臨床免疫学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
リウマチ病学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
分子内分泌学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
分子血液学	2・3・4 通	2	4	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
老化制御学	2・3・4 通	2	1	1	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
分子循環器学	2・3・4 通	2	1	1	1	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23)
感覚生理学	2・3・4 通	2	4	1		教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
痛覚情報解析学	2・3・4 通	2	4	1		教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
神経生理学	2・3・4 通	2	4	1		教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
高次脳機能生理学	2・3・4 通	2	4	1		教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
循環生理学	2・3・4 通	2	1 4	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員未就任により減となったが、関連分野の教員が担当(21)
神経生理学	2・3・4 通	2	1 4	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員未就任により減となったが、関連分野の教員が担当(21)
病態生理学	2・3・4 通	2	1 4	4		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員未就任により減となったが、関連分野の教員が担当(21)
神経細胞生物学	2・3・4 通	2	4	4		教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が兼任(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員未就任により減となったが、関連分野の教員が担当(21)
神経情報伝達学	2・3・4 通	2	4	4		教員の退職のため減となったが、関連分野の教員が兼任(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員未就任により減となったが、関連分野の教員が担当(21)

分子機能生化学	2・3・4 通	2	1			
遺伝子情報生化学	2・3・4 通	2	1			
腫瘍生化学	2・3・4 通	2	1			
細胞代謝機能学	2・3・4 通	2	1		2 +	教育内容の充実のため、教員を追加(21)
分子病態生化学	2・3・4 通	2	1		2 +	教育内容の充実のため、教員を追加(21)
生体高分子機能学	2・3・4 通	2	1		2 +	教育内容の充実のため、教員を追加(21)
分子病態学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
分子診断学	2・3・4 通	2	1	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
生体情報薬理学	2・3・4 通	2	+	1	+	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
分子薬理学	2・3・4 通	2	+	1	+	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教員の退職により減となったが、同分野の教員が担当(21)
臨床薬理学	2・3・4 通	2	1	1		
細胞工学	2・3・4 通	2	1			
活性高分子設計学	2・3・4 通	2	1			
遺伝子生化学	2・3・4 通	2	1	1		
分子神経科学	2・3・4 通	2	1	1		
神経生化学	2・3・4 通	2	1	1		
発生工学	2・3・4 通	2	2	1		教育内容の充実のため、教員を追加(21)
細胞生物学	2・3・4 通	2	1	1		
高次生体機能解析学	2・3・4 通	2	1	1		
自然免疫学	2・3・4 通	2	1			
分子免疫学	2・3・4 通	2	1			
動物実験学	2・3・4 通	2	1			
実験動物学	2・3・4 通	2	1		1	
比較医学	2・3・4 通	2	1		1	
疫学	2・3・4 通	2			1	
ゲノム疫学	2・3・4 通	2			1	
健康科学	2・3・4 通	2			1	
生物統計学	2・3・4 通	2			1	
環境衛生学	2・3・4 通	2	1		1	
産業衛生学	2・3・4 通	2	1		1	
労働衛生工学	2・3・4 通	2	1		1	
人間工学	2・3・4 通	2	1		1	

	応用法医病理学	2・3・4 通	2				1			
	応用DNA 解析学	2・3・4 通	2				1			
	薬毒物超微量分析学	2・3・4 通	2				1			
	医療情報システム	2・3・4 通	2		4					教員の退職のため減となったが、同分野の教員（専門職大学院専任教員）が兼任(21)
	生体信号解析学	2・3・4 通	2		4					教員の退職のため減となったが、同分野の教員（専門職大学院専任教員）が兼任(21)
	生物統計学	2・3・4 通	2		4					教員の退職のため減となったが、同分野の教員（専門職大学院専任教員）が兼任(21)
	医療システム学	2・3・4 通	2		4					専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
	生存政策学	2・3・4 通	2		4					専門職大学院専任教員となったため、兼任へ変更(21)
	医学教育学	2・3・4 通	2		1	4	1	1		教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容の充実のため、教員を追加(21)
博士論文演習	博士論文基礎演習	2・3・4 通	2			46 45 56	50 44 45	16 15 16	6 2	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
	博士論文応用演習	2・3・4 通	2			46 45 56	50 44 45	16 15 16	6 2	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)
	博士論文作成演習	2・3・4 通	2			46 45 56	50 44 45	16 15 16	6 2	教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(23) 教育内容に応じ、より教育効果の上がる教員の配置とした(22) 教員の退職、採用等により増減となったが、減については、同分野の教員が担当(21)

- (注)・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお，昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても，「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし，「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	362	0	364	2	362	0	364	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)・ 未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[]内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合： 1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
文学部 人文学科	4	160		640	学士(文学) 学士(学術)	1.04	平成12年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
教育学部	4	50		200	学士(教育学) 学士(学術)	1.08	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
法学部	4	200		800	学士(法学) 学士(学術)	1.02	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
経済学部 経済・経営学科	4	150	3年次 10	620	学士(経済学) 学士(学術)	1.06	平成12年度	福岡県福岡市東区 東区箱崎6丁目 19番1号	
経済工学科	4	90	3年次 10	380		1.09	昭和52年度		
理学部 物理学科	4	59		236	学士(理学)	1.11	昭和24年度	福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 10番1号	
化学科	4	67		268	学士(学術)	1.04	"		
地球惑星科学科	4	48		192		1.06	平成2年度		
数学科	4	54	3年次 5	226		1.07	昭和24年度		
生物学科	4	49		196		1.10	"		
医学部 医学科	6	111		626	学士(医学) 学士(生命科学)	1.01	昭和24年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号	
生命科学科	4	12		48	学士(看護学)	1.16	平成19年度		
保健学科	4	137		548	学士(保健学) 学士(学術)	1.04	平成14年度 (平成15年4 月学生受入)		
歯学部 歯学科	6	53		343	学士(歯学)	1.03	昭和42年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号	
薬学部 創薬科学科	4	50		200	学士(創薬科学)	1.09	平成18年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号	
臨床薬学科	6	30		180	学士(薬学) 学士(学術)	1.04	"		
工学部 建築学科	4	60		240	学士(工学)	1.06	昭和29年度	福岡県福岡市 西区元岡 744番地	
電気情報工学科	4	158		632	学士(学術)	1.07	平成8年度		
物質科学工学科	4	168		672		1.08	平成9年度		
地球環境工学科	4	150		600		1.04	平成10年度		
エネルギー科学科	4	99		396		1.07	"		

機械航空工学科	4	169		676		1.09	平成11年度		
芸術工学部							平成15年度	福岡県福岡市	
環境設計学科	4	38		152	学士（芸術工学	1.07		南区塩原4丁目	H16.4
工業設計学科	4	48		192	）	1.05		9番1号	学生受入
画像設計学科	4	38		152	学士（学術）	1.05			
音響設計学科	4	38		152		1.07			
芸術情報設計学科	4	40		160		1.04			
農学部					学士（農学）		平成10年度	福岡県福岡市東区	
生物資源環境学科	4	229		916	学士（学術）	1.06		箱崎6丁目10番1号	

- （注）・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
（大学院に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」欄には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<医学系学府 医学専攻>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
114	0	114	0	118	0	118	0	
(105)	(0)	(105)	(0)	[4]	[0]	[4]	[0]	

(注)・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合： 1)

5 その他全般的事項

< 医学系学府 医学専攻 >

情報提供に関する事項

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (年 月 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.kyushu-u.ac.jp/university/office/somu-bu/hourei/establish.htm>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(大学) 」としてください。